

MV-22オスプレイの 普天間基地配備・ 全国低空飛行訓練に 反対する全道集会

米政府は7月23日に、「垂直離着陸機MV-22オスプレイ」の岩国基地への陸揚げを強行しました。

今後、沖縄普天間基地に配備し、10月から本格運用するとしています。また、沖縄配備後は、日本国内における飛行訓練区域6ルートにおいて、低空飛行訓練を行うとしています。

オスプレイはこれまで7度の墜落事故を起こし36名が死亡しています。アメリカの専門家は、トラブルでエンジンが停止した場合に安全に着陸する機能を持たないことを指摘しています。また、低空飛行訓練は、米軍機が実戦を想定し、150メートルかそれ以下の高度で飛行するため、ルート下での騒音被害は大きく、過去に墜落事故を起こしています。

「世界一危険な基地」に欠陥機オスプレイを配備させてはいけません。

日 時 2012年9月5日(水) 18:00 ~ 20:00

会 場 かでる 2.7 1階 かでるホール

参加費 無料

主 催 連合北海道・北海道平和運動フォーラム

内 容 DVD視聴「オスプレイ普天間配備の危険性」

講 演 「オスプレイの危険性、全国に広がる」

頼 和太郎 さん(リムピース編集長)



MV-22オスプレイ。離着陸時はプロペラを上、航行時は前にむけます。(写真はウィキペディア・コモンズより)